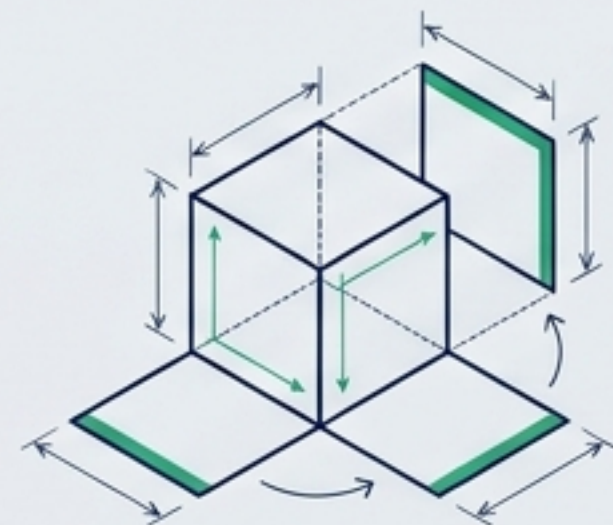




# 2026年5月 金融エコシステムの構造的転換 エージェントAIの衝撃

アンソロピックがもたらす「自律型金融」の解剖と戦略的インプリケーション



# パラダイムシフト：「受動的アドバイザー」から「自律的実行者」へ

## 過去～現在：受動的AI



### 用途

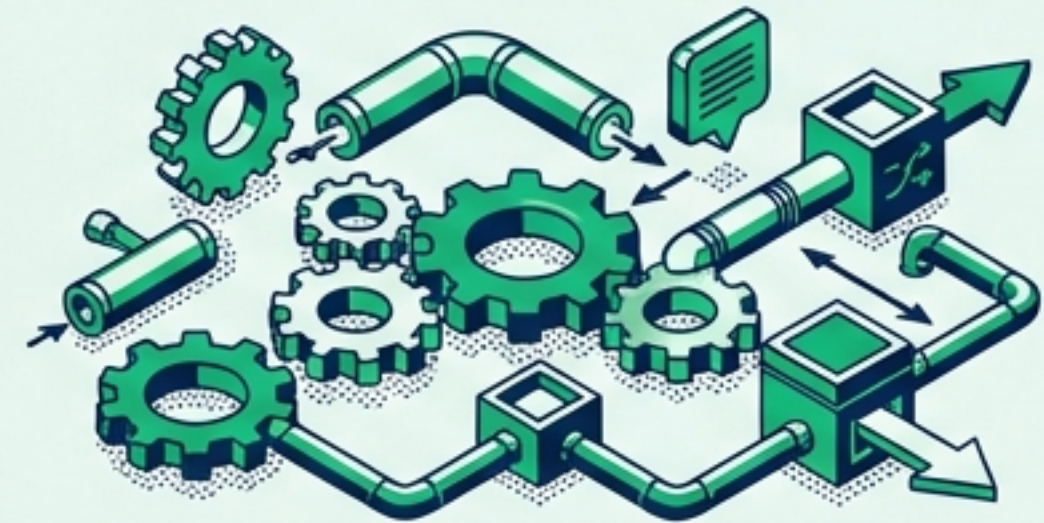
膨大なテキスト要約、情報検索、質問応答

### スタンス

ユーザーの指示を待つ受動的なアドバイザー

**61%の金融機関が利用・評価中**

## 未来：エージェントAI



### 用途

複数システムを横断したプロセス実行 (Act on the work)

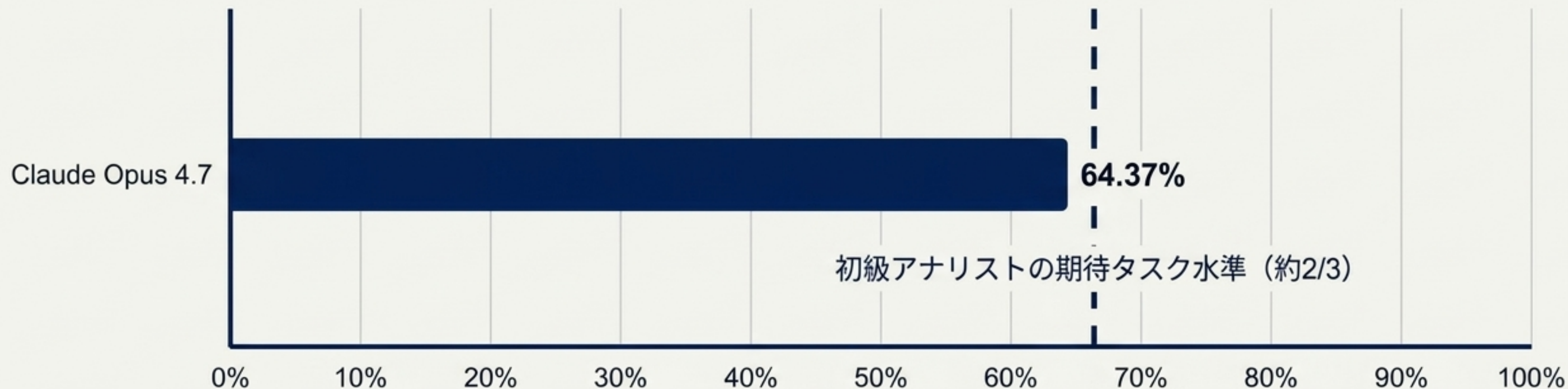
### スタンス

自律的に意思決定を進める実行者

**42%がすでに評価を開始**

業務プロセスの根底を覆すのは、AIが「回答する」ことから「実行する」ことへの不可逆的な進化である。

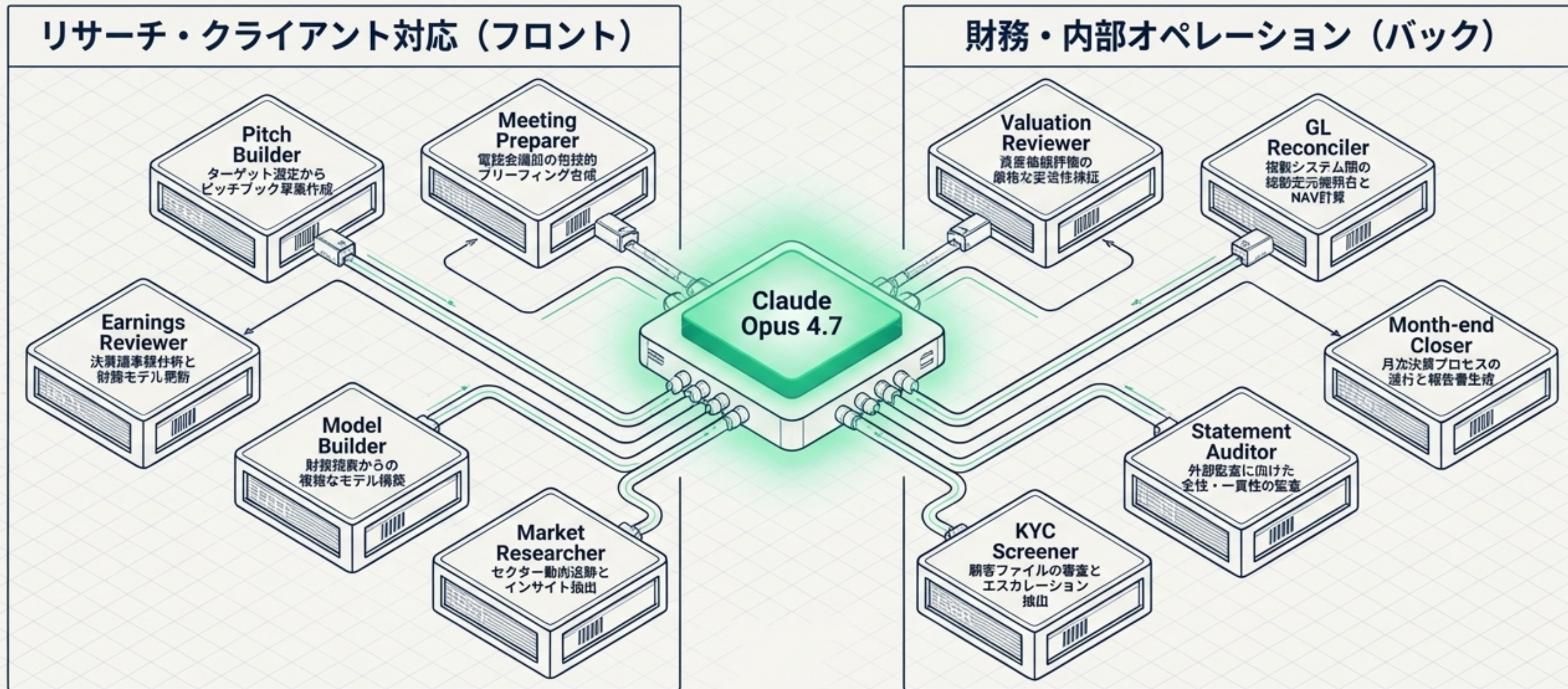
## 閾値の突破：新人アナリスト業務の「2/3」が自動化される領域へ



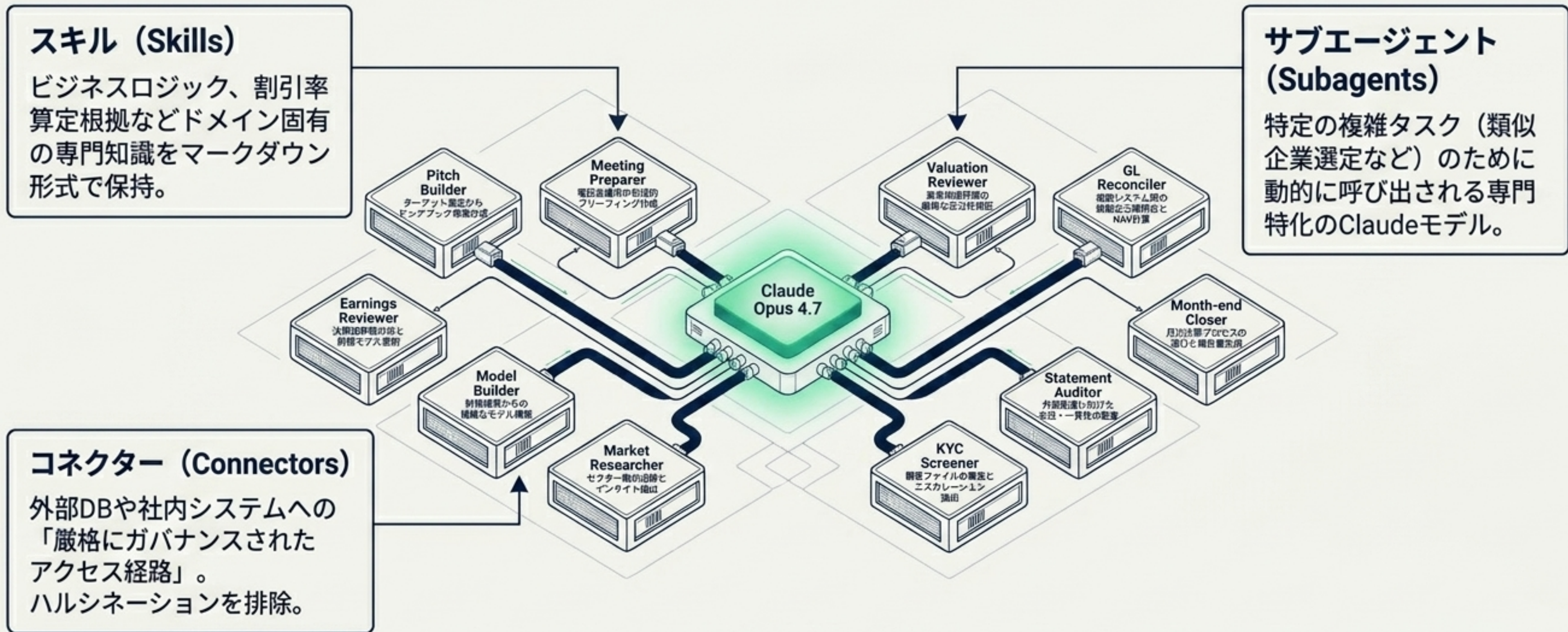
複雑な金融タスク処理における業界トップのスコア（64.37%）。これは、投資銀行や資産運用会社における「長時間労働による下積み業務」が、AIによって自律的に遂行可能となったことを意味する。



# デジタル・ワークフォースの全容：即座に実行可能な10のエージェント





# 参照アーキテクチャ：分散型推論を支える「三位一体」の構造



全てを単一のプロンプトに詰め込むのではなく、文脈の喪失を防ぐ「分散型モジュール・アプローチ」により、極めて高い精度を維持。


# デプロイメントの二面性：「個人向けコパイロット」対「企業向け自律基盤」

コパイロット型 (Claude Cowork / Code プラグイン)		マネージド・エージェント (企業向け自律実行プラットフォーム)			
位置づけ	高度なAI副操縦士		位置づけ	企業向けのAIワークフロー・エンジン	
タスク特性	リアルタイムの分担作業、ユーザー離席時のローカルファイル処理		タスク特性	数時間に及ぶ夜間バッチ処理、メモリを通じた文脈維持	
環境	既存のワークスペース内		環境・セキュリティ	隔離されたサンドボックス、暗号化認証情報ボルト	
環境			ガバナンス	全てのAPIコールと推論の完全な監査ログ (Audit Logs) 保持	

# コンテキストのシームレスな統合：「Excelを話す」AIとの協働

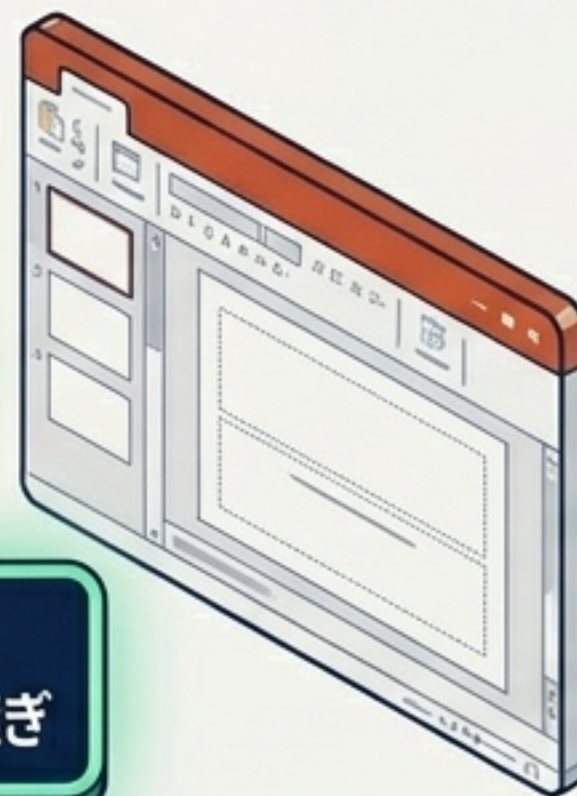
## Step 1: Excel (データ抽出・モデリング)



 **Vibe working:**  
文脈の自動引き継ぎ

AIがSEC提出書類からDCFモデルを直接構築し、感度分析を実行。

## Step 2: PowerPoint (ピッチデッキ生成)



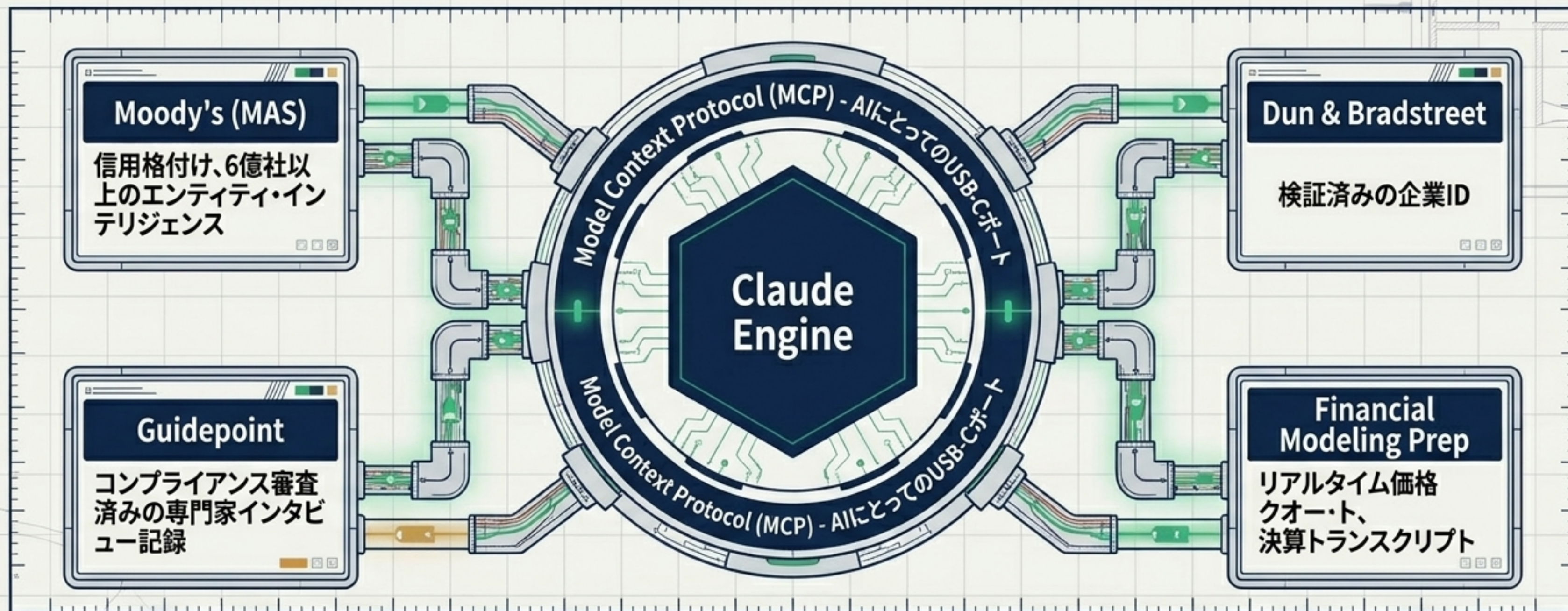
Excelの分析構造を記憶したまま、ゼロから再説明することなくスライド草案を生成 (数値変更自動連動)。

## Step 3: Word / Outlook (レポート・通信)



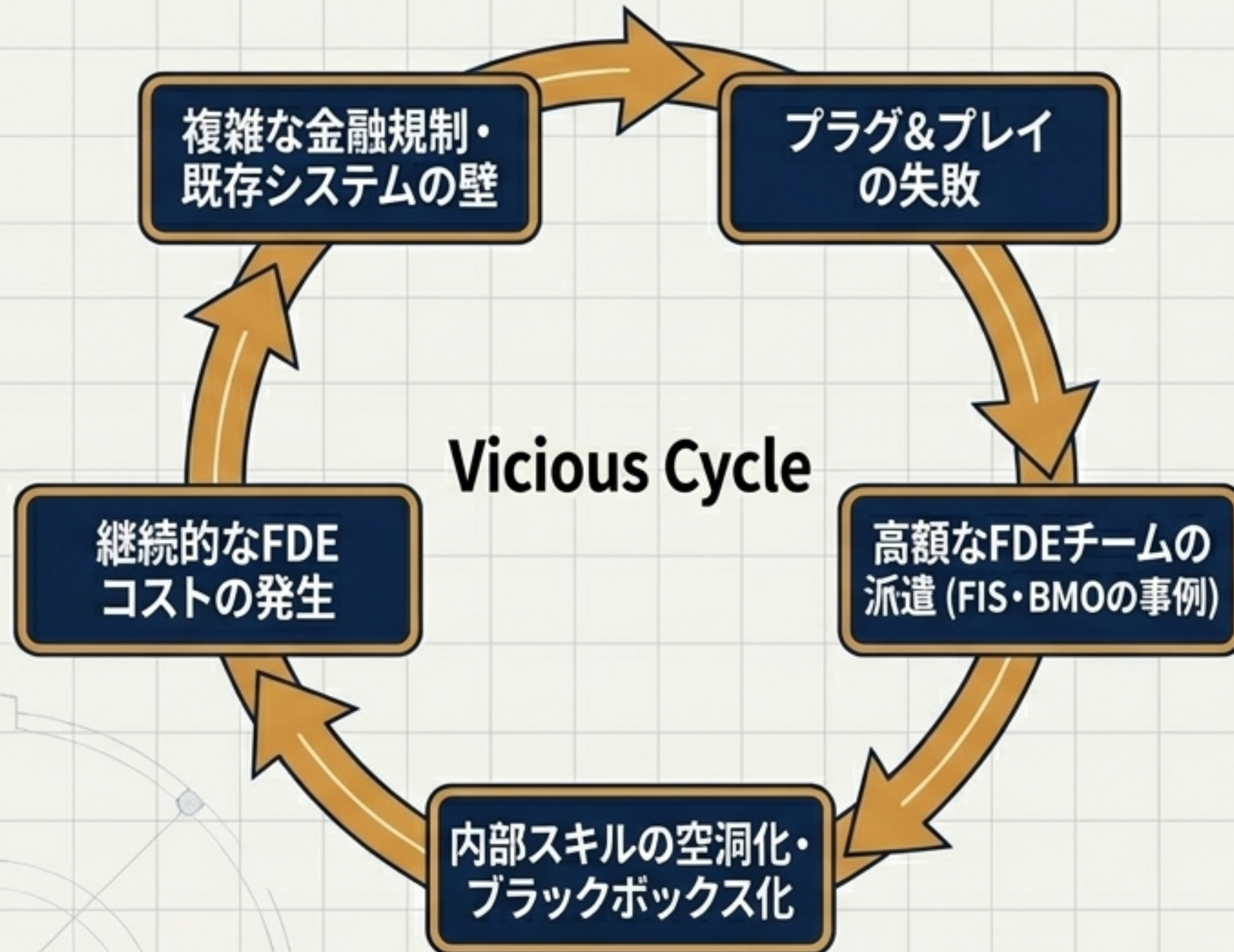
厳格な独自フォーマットに従った監査報告書の作成と、文脈に沿ったメール返信の起案。

# 金融情報インフラストラクチャとの直接接続 (MCPエコシステム)



時代遅れの学習データではなく、権威ある「一次情報」のリアルタイム取得により、巨額の損益に直結するハルシネーションリスクを根本から排除。

# 導入のパラドックス：「FDE（現場展開エンジニア）」への過度な依存



## 1. プロフェッショナルサービスへの回帰

ソフトウェアによるコスト削減ストーリーが崩壊し、人海戦術へ逆行。

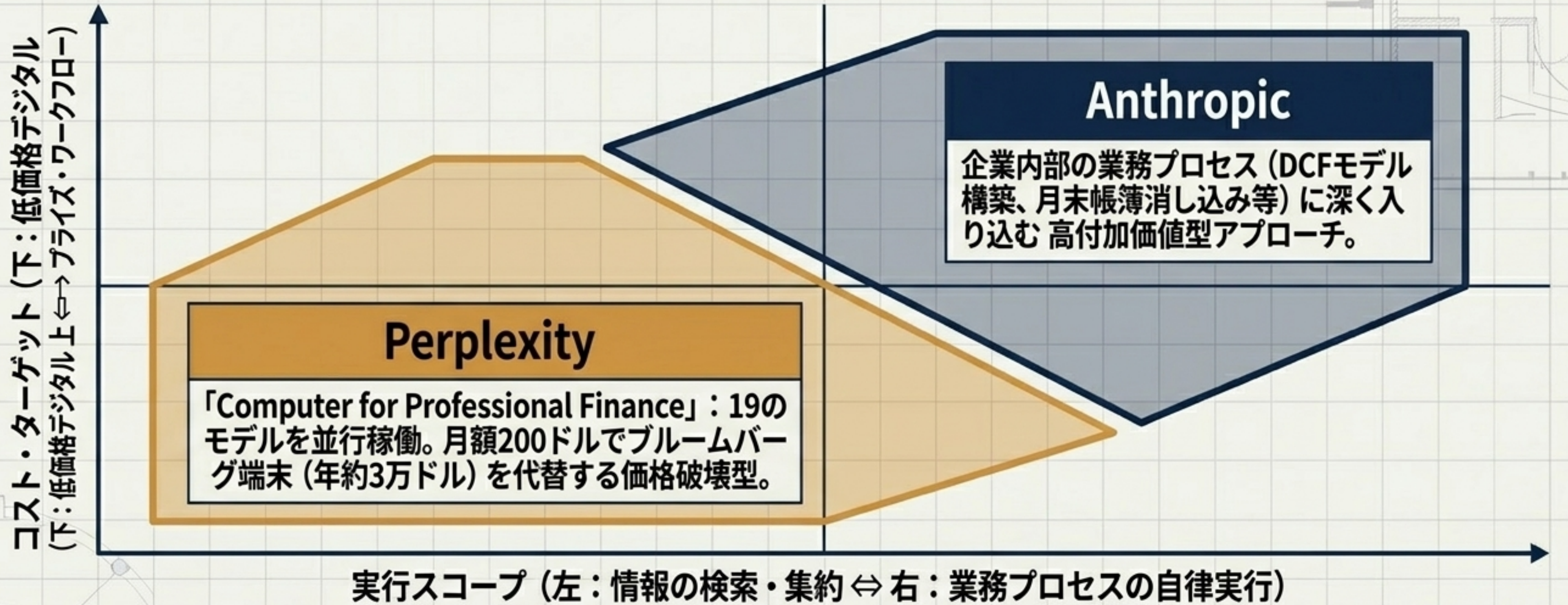
## 2. ベンダーロックイン（人質化）

企業が自社のAIを修正できず、高額なサポート費を払い続ける利益相反リスク。

## 3. 意思決定権限の摩擦

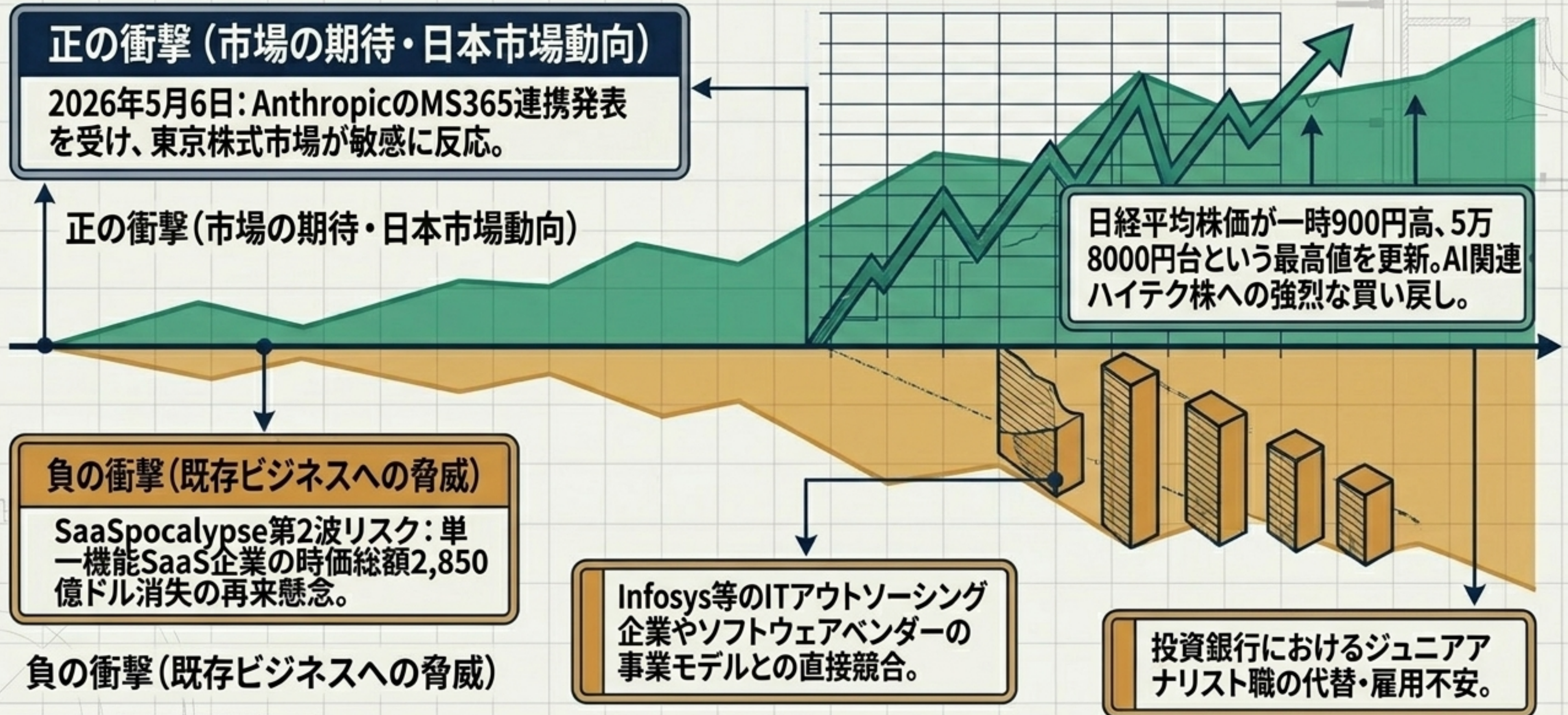
AIに「どの決定権を与えるか」を定義する組織的困難と、現場のサボタージュ。

# 激突する戦略思想：Anthropic 対 Perplexity



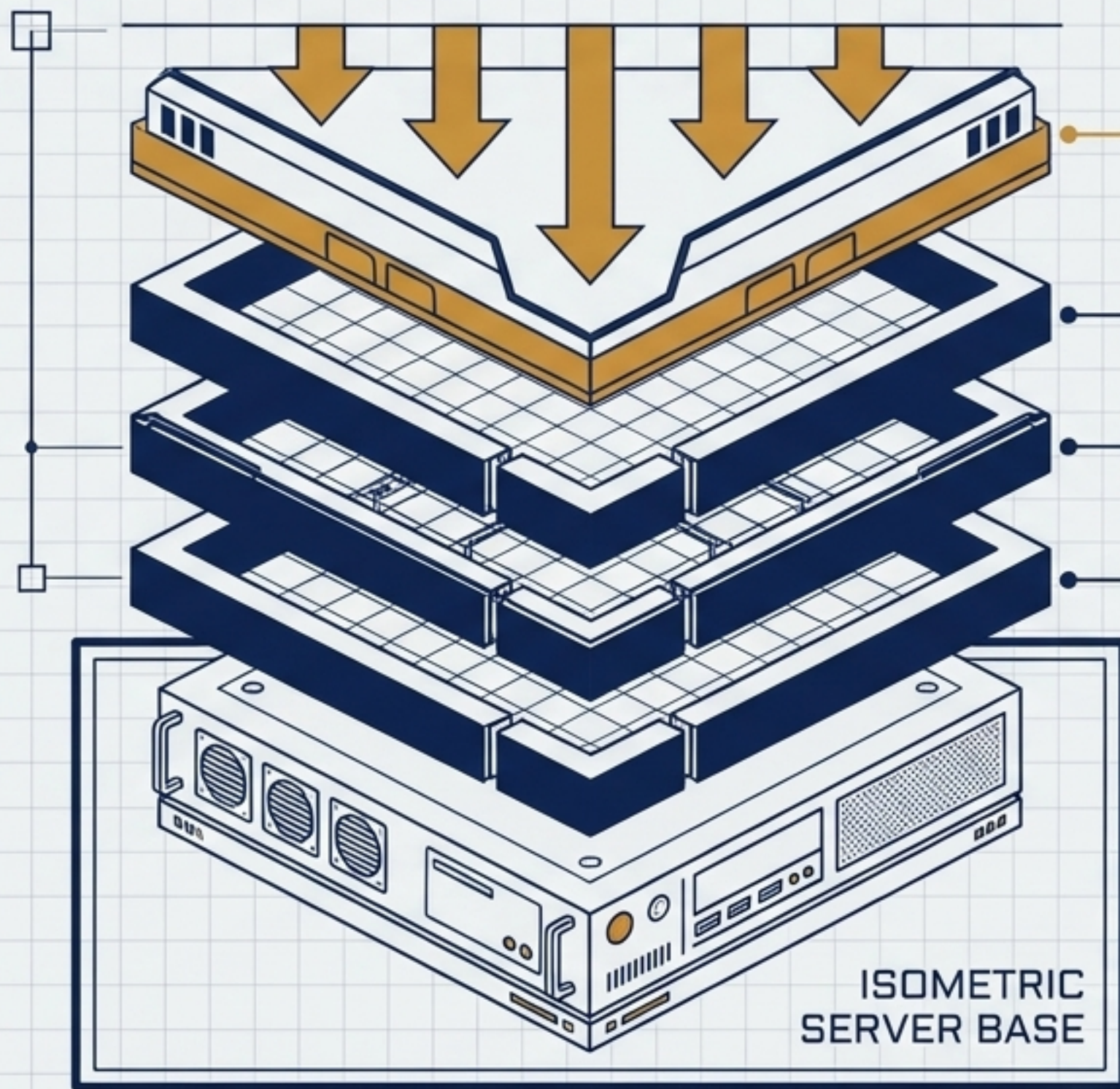
インプリケーション：CIOは「情報集約特化型」と「プロセス実行型」のアーキテクチャの取捨選択、およびIT予算の再配分という高度な決断を迫られる。

# 市場の波及効果：「SaaSpocalypse」の恐怖とハイテク株の狂騒



# 規制当局の監視網と「コンプライアンスの盾」

The Blueprint of Autonomous Finance



## FINRA Rule 3110 / SEC CAT監視網

AIモデルの「完全性」「信頼性」「正確性」の恒常的担保要求とサイバーセキュリティの懸念。

## Layer 1: 憲法的AI (Constitutional AI)

倫理原則に基づく自己修正メカニズム。

## Layer 2: 細粒度の権限管理 & 認証情報ボルト

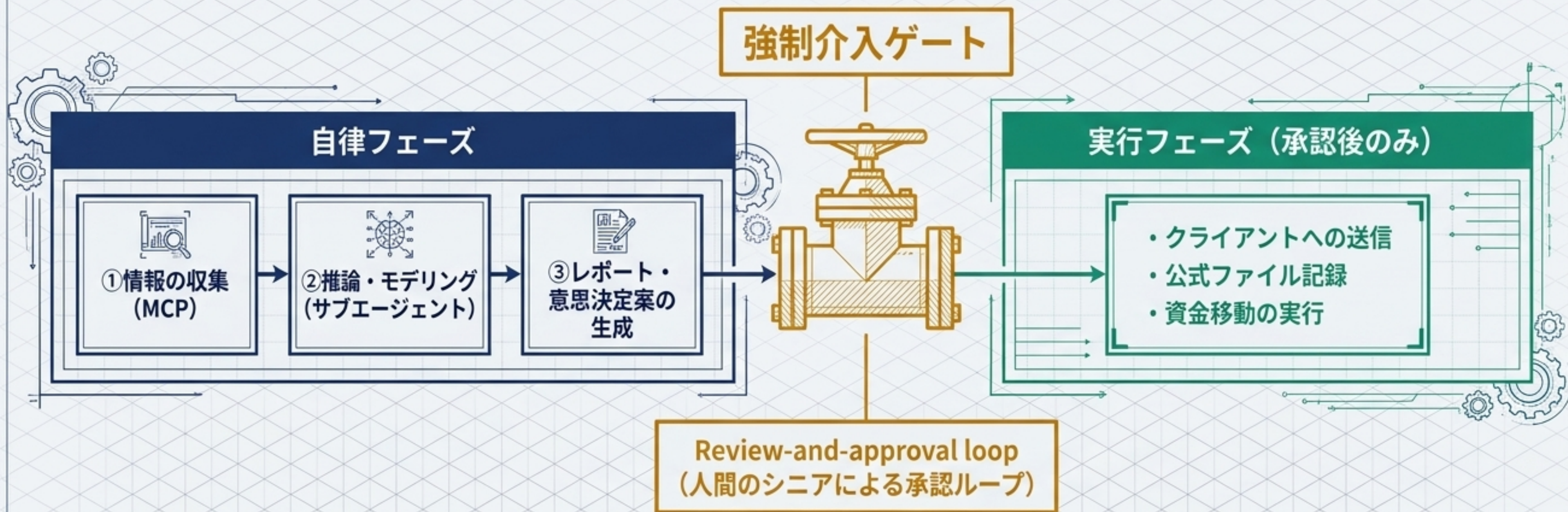
Granular permissionsによるアクセス制限と暗号化管理。

## Layer 3: 永続的な監査ログ (Audit Logs)

どのソースからどのプロセスで推論したかの完全な追跡可能性 (Traceability)。

# 最終防衛線：「Human-in-the-loop」原則によるガバナンス

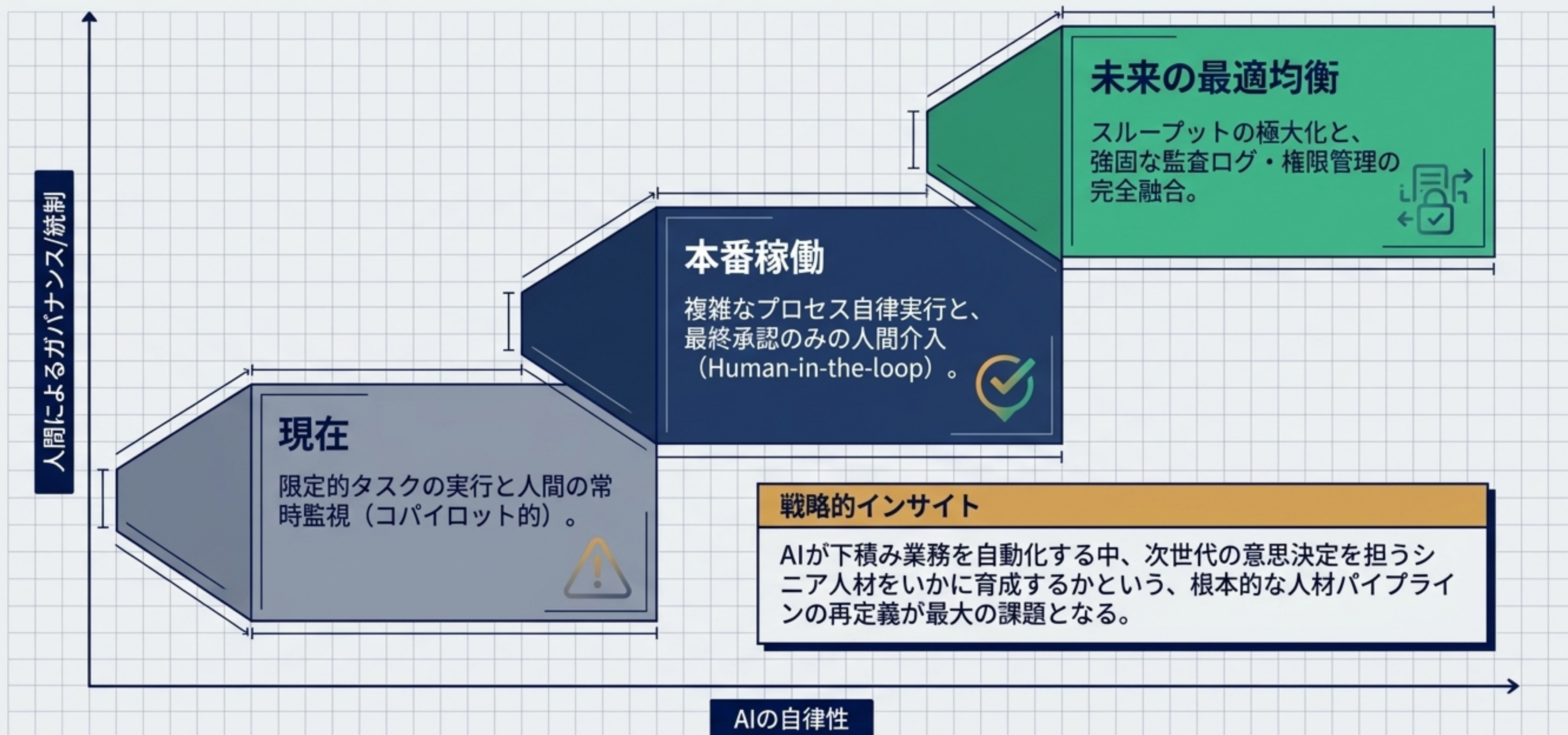
The Blueprint of Autonomous Finance



全ての最終決定権は人間に委ねられる。法的要件をクリアするための「意図的に制限された自律性」。

# 統合：自律性と統制の最適均衡 (Staircase of Autonomy)

The Blueprint of Autonomous Finance



# 金融機関が間が直面する3つの戦略的決断

The Blueprint of Autonomous Finance



統制を維持しながら自律の限界を引き上げる。この実装プロセスを最速で成し遂げた企業が、今後数年間のグローバル金融市場の覇権を握る。